

日本語教室ぺらぺら会（火曜・金曜コース）全体会の議事録

日時	場所
令和2(2020)年11月06日(金)	文化会館 3階 504 ルーム
林(代表=司会) & 神田(副代表=書記)	

1 以下の3点からなる「現状認識」を共有しました。

- 1 現在の教室運営細目は、2021年3月末までの期間にだけ、時限的に適用されているものである。
- 2 新型コロナ禍が、この先、どう展開するかは誰にも予測できない。
- 3 希望的な条件が整えば、2021年4月以降の教室運営細目は、従来のものに復帰する。

2 将来を展望しながら、たくさんの前向きな意見・要望・提言、等が述べられました。

記録できた限りを、以下に列挙します：－

*教室から「一人も感染者を出さない」という意識で自己防衛していこう、ということですね。

*2021年1～3月に予定されている「養成講座」を見学させてほしい。

→日程と会場のキャパが確定したらメールでお知らせします。(交流課)

→養成講座の受講予定者数は、28人。「月木」「火金」コース両方を対象とする人数。

*定例会（全体会）は、コロナ禍中の今だからこそ、各種情報交換のためにも必要だと考えます。

→感染防止対策上の諸情報。クラス運営の現状報告。

→参考に月木コースの状況について。毎月定例会を行わず、中間地点の12月、来期の話が出て来る2月・3月に実施と決まったようです。(交流課)

*サブ1人限定よりは、量的に拡充された支援的なサブ態勢の方が学習者に好感されていると感じる。

→サブ1人限定は、コロナ禍における部屋の定員減に対応するためをお願いしている。現実的には2人以上のサブの方が参加していることもあるが、絶対禁止と言っていない現状をご理解いただきたい。
(交流課)

*来期以降に、より充実されたサブ態勢づくりのためにも、現行の「メイン担当講師だけに商品券3枚」のルールは、旧来型に再度変更した方が良いと考えます。

→旧来の主旨は「交通費の見合い」だったと記憶しております。

*各クラスの運営概況が報告されました（下記）：

A：11人でスタートして、8人になった段階で、「取り消し待ち」者の入会を決めて、9人である。」

ご担当のアクツ先生が「飽きさせない」授業づくりに努めている。

11月から「3課」に入った。ひらがな・カタカナの書きは宿題でやっているが、学習者はみんなよくやっている。ご担当のアクツ先生が「飽きさせない」授業づくりに努めている。

B：6人全員（本日は1人が欠席したが）が、楽しそうに学習してくれている。

C : 5人でスタートして、現在では4人または3人となっている。

*B・Cクラスの「講師アサイン表」は財団のHPにアップされました。ご覧ください。

*村松さんが、Aクラスを見学した。「なるほど」という面があった。可能ならば、他の人による見学をおすすめします、との発表だった。

3. 来月以降の全体会の開催については、林代表から、あらためて連絡メールが送られることになりました。

以 上

(以下余白)

〈出席者〉鈴木(雄)、村松、棚木、小藤田、能川、林、神田。 以上7名。

〈交流課〉小野係長。 次回予定は未定(林代表に一任)。